秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

きらりNet

令和４年１月２６日
第１２０号
秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

居住地校交流 with コロナ

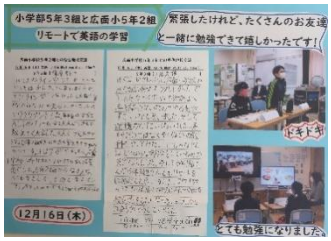
今年度、居住地校交流を希望した児童生徒は、小学部９名（８校）、中学部 ５名（４校）でした。昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大が心配されましたが、感染状況を確認しながら相手校や保護者の方々と調整ができ、直接交流が再開されたり、リモート交流も増えてきたりと進化した１年でした。　（文責：山本 泉子）

直接交流

１人１人からのメッセージがとてもうれしかったです。おへんじ、かきます。メダルももらいました。

（本校児童の感想より）

リモート交流



ひさしぶりに小学校のみなさんに会えてうれしかったです。…中略…英語だけではなくそのほかの教科もやってみたいです。（本校児童の感想より）

DVD、手紙交流

居住地校から合唱コンクールの DVD と手紙が届いたり、YouTube によるライブ配信でメッセージをいただいたりしました。間接交流となりましたが、同世代の合唱を聴いて、感想や手紙を書いて渡し、気持ちを伝え合う時間をもつことができました。

出前授業（障害理解学習含む）

まだ直接交流が実現していない小学部２年生児童の居住地校での出前授業は、その児童や学校紹介の他、支援ツールの紹介を行いました。また、どんなふうに声を掛けて接したらいいか、２年生なりに関わることの大切さを感じ取ってもらいました。

〈小学校２年生授業後の声〉

- はやく会って一緒に遊びたい。
- 小学校ときらり支援の違いが分かった。
- 自分と同じ、それ以上に勉強や活動をがんばっている。

令和３年度　特別支援学校児童・生徒及び保育所園児等の作品展

✨学校紹介パネル、児童生徒の作品や作業学習製品等を展示します✨

令和４年２月３日（木）～２月１０日（木）【秋田県社会福祉会館】

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

聴覚支援学校との『交流ピン倒しボール　対抗戦』～高等部　総合的な探究の時間～

交流前、生徒達と「どんなことに気をつけて交流するか？」を話し合うと、「話すときには相手をしっかり見る」「ゆっくり、大きな声で話す」「話しかけるのは恥ずかしいけど、挨拶はしっかり伝える」など、これまでの経験を生かした意見が出ました。直接会って一緒に活動できることへの期待も感じられました。

当日はコロナ対策のため、本校生徒を支援する職員数が制限されましたが、逆に、聴覚支援の生徒が本校生徒にボールを渡したり、倒れたピンを除去したりと生徒同士の自然な関わりが生まれました。

交流後、「照れてしまい、あまり話はできなかったけど『ありがとう』は言った。でも、手話の方が伝わるのかなあ」という声も聞かれ、もっと自分の気持ちを伝える工夫をしようとする姿が見られました。

お互いが楽しい時間を過ごすことができるように、これからも学習を積み重ねたいと思います。

（文責：小川順子）

「今日は楽しかったです。
また交流しましょう！」

生徒同士の自然な関わり

教育専門監のコーナー

【共に生きる、協働、共創】

～認め合い、支え合う学級を目指し～

【規範意識を育む】
きまりの意義や価値を実感できる規範意識の醸成

【主体性・協働性を育む】
他者への貢献や協働が展開できる環境の設定

【自己肯定感・肯定的他者理解を育む】
一人一人の努力や成長、貢献への多様な承認とメッセージの伝達

【目的意識・メタ認知力を育む】
自分の良さ、可能性への気付きと将来の夢、希望に向けた目標の設定

【心が動き出す対話力を育む】
○「なぜ・なんのために」を大切にした経験
○「共に」が有する意味や価値に目を向ける問いによる振り返り
○「教科内、教科間、教科と体験」というつながりを大切にした学び

参考：『「問い」が生まれる授業サポートガイド』（沖縄県教育委員会）

《為すことによって学ぶ》

自分を見つめ、社会との向き合い方や人との関わり方を考え進める高等部の総合的な探究の時間の実践。大切にしているのは、「活動」と「体験」がもたらす確かな「経験」。協働、共創の取組を繰り返す中で、生徒は他者との関係性を通して、自己の理解を深めていきます。各自が「他人事」から「自分事」「自分たち事」として捉え、考えることで、個々の学びを深めていきます。

相手と目的を意識した他者との学びの中で、自分の在り方や生き方を身に付けていく“自分探しの学び”。教師や相手、自分への「問い」と、多様な価値、意味に触れる「対話」の中で、「違い」が生み出す可能性や「共に」が生み出す可能性に目を向け、将来に向けて確かな夢を描いていきます。

〈文責：二階堂　悟〉

◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。
教頭　　高橋　省子　　地域支援部主任　　大友　明希子
住所：〒010-1409　秋田市南ケ丘１丁目１番１号
E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp
電話：018（889）8573　　FAX：018（889）8575
「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。
http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html